

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立本庄中学校）

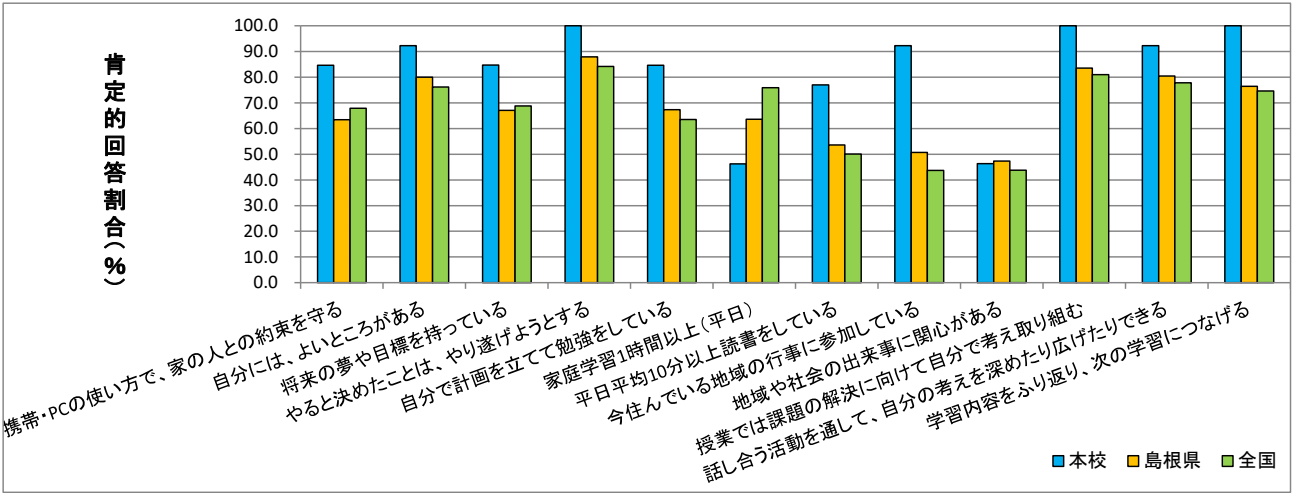
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○漢字の読み書きや、言葉の意味を正しく理解している生徒が多い。 ○適切な話し合いの進め方を理解している生徒が多い。 ●敬語の正しい使い方の理解が不足している傾向がみられる。 ●文章の要旨を踏まえて自分の考えを書く力が弱い。	・漢字や古語の小テストや单元ごとの振り返りを継続していく。 ・毎時間のグループ学習で話し合いのルールや言葉づかい等を意識できるような工夫を行う。 ・説明的な文章を読み要旨を捉える力を伸ばす授業の工夫を行う。 ・自分の考えを適切に書く課題を、授業に取り入れる工夫をする。
数学	○整式の加減計算や与えられたデータから中央値を求めることなど、数学的な技能については高い成果を出している。 ○与えられた表やグラフから、適切な情報を読み取ることができている生徒が多い。 ●図形領域において、特に図形の性質を見だし、それを数学的に表現することに課題が見られる。	・知識の概念的な理解を図る授業を継続して行い、技能向上のための生徒の主体的な計算練習の取組を促す。 ・批判的思考を育む指導(記述を読み合う指導、数学レポート、他者の考えを推し量る指導等)を継続して行うとともに、どのように考えたのかを推し量る授業場面を設定したりする。

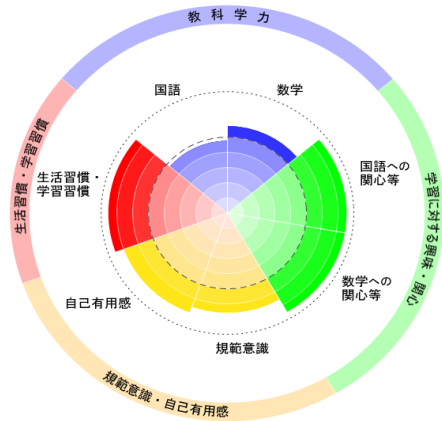
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
○自分のよさを認め、目標の達成に向けて努力しようとする意欲が高い。 ○地域とのつながりを大切にし、積極的に地域と関わろうとしている。 ○授業の課題や話し合い活動に積極的に取り組む態度が身についている。 ●授業への意欲は高いが、家庭学習の習慣が身につけていない生徒がいる。	・学校での活動を通して、自他のよさを認め合い、互いに向上し合おうとできるように、継続して取り組んでいく。 ・地域との連携を取りながら、生徒と地域を結ぶ取組を今後も続けていく。 ・家庭学習の習慣が身につくように、個別指導を行っていく。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・スマートフォンやタブレットの使用について、メディア学習の機会を設けるなど継続して指導していく。
- ・学校図書館と連携して、本に親しみ読書の幅を広げられるような取組を行っていく。

【受検者数】 13 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。